

報道関係者各位

2014年4月25日

プレスリリース

株式会社ヒューマ

ニコニコ超会議 3 に出展が決定

透明ディスプレイが生み出す新しい広告

アクアリウム型サイネージ

インターネットを活用した治験マッチングサービス「ボランティアバンク」を運営している株式会社ヒューマ（東京都港区、代表取締役社長：三原西木）のグループ会社であるデジタルブレインは、ニコニコ超会議 3 に透明ディスプレイ型デジタルサイネージを出展いたします。



※開発中のアクアリウム型デジタルサイネージ(イメージ)

《背景》

透明ディスプレイ型デジタルサイネージをモニターとして使うだけではなく、驚きや感動を与えられるコンテンツとして運用しようと展開していた所、3D コンテンツを開発している企業からの打診があり、今回の出展へ至りました。

透明サイネージの透過性やサイネージの形状を最大限利用した結果、今回のアクアリウム型サイネージが生まれました。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社ヒューマ 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-27-12 秀和浜松町ビル 9 階

担当：菅原

TEL：03-3431-1167

FAX：03-3431-1168

◆ニコニコ超会議【超 Ocufoes(オキュフェス)】に出ます

来場者数 10 万人、総視聴者数 500 万とも言われる巨大なエンターテインメントコンテンツの発信会でもあるニコニコ超会議に出展致します。

今回の出展はニコニコ動画内で数十万回再生されている動画をコンスタントに飛ばし、「回ってみた」などの 1 ジャンルを築いている藤山晃太郎氏(別名：手妻師)と共同で『超 Ocufoes(オキュフェス)』ブース内にて行われます。超 Ocufoes 最大の目玉でもある VR ヘッドセット『オキュラスリフト』はゴーグル型の機器を装着することにより、装着者を 3D 空間へ誘う商品。旧来から試行錯誤されてきたバーチャルリアリティ(VR)の最先端とも言われる商材で、最大の特徴は没入感。最近では Facebook が 20 億ドルで買収を果たし注目を浴びている機材です。

今回は透明ディスプレイ型デジタルサイネージを使いオキュラスリフトの魅力を最大限アピールするために趣向を凝らした演出を行います。今回のアクアリウム型サイネージの構想が生まれたのが超会議開催の 1 週間前。急ピッチで作業を進めた結果、『人を立ち止まらせ、広告効果を増大させる』アクアリウム型サイネージが生まれました。



※透明ディスプレイ型デジタルサイネージ

◆今までのデジタルサイネージの課題

透明ディスプレイ型デジタルサイネージの課題は大きく2つです。

- ① 筐体とセットで提案できる汎用性の高い映像コンテンツがない
- ② コンテンツを新規で作る必要があり、総額のコストが高い

透明ディスプレイ型サイネージの物珍しさや、新規性に興味を持っていただける企業は沢山ありますが、具体的に運用のイメージを考えたときに障壁が高くなる傾向があるのがデジタルサイネージ全般の課題です。

◆アクアリウム型デジタルサイネージは何が違うのか

今回のアクアリウム型サイネージの特徴は、

『無重力空間の演出』と『擬態による驚き』です。

従来の透明ディスプレイ型サイネージでは、訴求する商品をBOXの中に置き、モニターを使って効果的に演出するという使い方が主でしたが、この方法だと見る角度によって映像と商品とのバランスにバラつきが出てしまうという問題点がありました。また、訴求する商品が止まっているものである場合、映像をいかに演出しても、ダイナミックな商品訴求へは中々繋がらないのが現状でした。

今回のアクアリウム型サイネージでは『水中を泳ぐ魚を演出する』ことで、従来の見る角度によって映像と商品とのリンクにバラつきができることを防ぐと共に、動きのある商品と動きのある映像がダイナミックに結びつく映像広告を作り上げることが可能になりました。また、一見すると水槽のように見えるサイネージ機器の形状を利用し、人を驚かせる仕掛けなども取り入れ、より効果的に人目を引き(アイキャッチ効果)、商品の広告効果を高める施策がとられています。

◆透明ディスプレイ型デジタルサイネージの今後

今回のアクアリウム型デジタルサイネージを皮切りに今後は汎用性が高く、どの企業のどのような商品にも提案できるコンテンツを拡充していきたいと考えております。在野技術者や、ネット上で新しい技術を実践しているクリエイターと数多く繋がり、技術協力の輪を広げていく。それにより開発の速度があがり、デジタルサイネージが持っている可能性をどんどん広げていく。この循環を作ることが最終的にデジタルサイネージの販路拡大に繋がる施策ではないかとデジタルブレインでは考えております。

●会社概要（株式会社ヒューマ）

会社名：株式会社ヒューマ

所在地：東京都港区浜松町 1-27-12 秀和浜松町ビル 9 階

代表：代表取締役社長 三原西木

設立：2002 年 10 月

事業内容：食品臨床試験(治験)受託、治験被験者支援事業(VOB)、販売促進事業

資本金：5600 万円

企業サイト：<http://www.huma-c.co.jp/>

治験マッチングサービス「ボランティアバンク」：<http://www.vob.jp/>

●会社概要（デジタルブレイン株式会社）

会社名：デジタルブレイン株式会社

所在地：東京都港区浜松町 1-27-12 秀和浜松町ビル 9 階

代表：代表取締役社長 三原西木

設立：2013 年 4 月

事業内容：屋外用デジタルサイネージ企画・設計・卸販売事業

透明ディスプレイ企画・設計・卸販売事業

デジタルサイネージコンテンツ・映像制作・運用管理・配信事業

広告代理店事業

資本金：1000 万円

企業サイト：<http://www.digital-brain.jp/>